

著者

イラン・パペ (Ilan Pappé)

1954年、イスラエル・ハイファ市生まれ。ハイファ大学講師を経て、現在、イギリス・エクセター大学教授、同大学パレスチナ研究所所長。イスラエル建国期のパレスチナ現代史を中心としたパレスチナ/イスラエル史研究。1984年に“Britain and the Arab-Israeli Conflict, 1947-1951”で博士号取得。主著に、*The Making of the Arab-Israeli Conflict, 1947-1951* (I.B. Tauris, 1992) ; *A History of Modern Palestine* (Cambridge University Press, 2004) ; *The Ethnic Cleansing of Palestine* (Oneworld Publications, 2006=本書) などがある。近年は、ヨルダン川西岸地区・ガザ地区の被占領地、イスラエル[国内のアラブ・パレスチナ人、アラブ世界出身のユダヤ教徒(アラブ系ユダヤ人)]に関する著作も相次いで出版している。日本での講演録として、「イラン・パペ、パレスチナを語る」(つげ書房新社, 2008年)がある。



サビエンティア 50

パレスチナの民族浄化

イスラエル建国の暴力

2017年11月1日 初版第1刷発行

著者 イラン・パペ

訳者 田浪亜央江・早尾貴紀

発行所 一般社団法人 法政大学出版局

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

電話 03(5214)5540 / 振替 00160-6-95814

組版 言海書房 / 印刷 平文社 / 製本 誠製本

装幀 奥定泰之

© 2017

ISBN 978-4-588-60350-1 Printed in Japan